

令和三年 第二回（通算二六七回） 大島能樂堂定期公演

六月二十日(日)十二時半始

喜多流 大島能樂堂

俊成忠度

しゅんぜいただのり

株式会社 アイシン産業 福山市神村町 3550-1 TEL 084-934-6615	秋山クリニック 広島市安佐南区大町東 2-12-24 TEL 082-870-3322
医療法人 社団 修和会 池田医院 福山市新市町戸手 2121-1 TEL 0847-51-2098	ISSHIN GROUP 一心グループ株式会社 福山市赤坂町赤坂1276 TEL 084-952-4000
SR ホールディングス	尾道うずしおカントリークラブ ONOMICHI UZUSHIO COUNTRY CLUB 尾道市原田町梶山田 1069 TEL 0848-38-0041
Oriental Hotel 福山市城見町 1-1-6 TEL 084-927-0888	KYOEI TENPO 堺共榮店 福山市曙町 1-3-17 TEL 084-953-1650
株式会社 サンネット SUNNET 広島市中区袋町 4-21 TEL 082-248-4100	スチールプロ STEEL PRO グループ
DAIEI 株式会社 中冷 福山市銀町 1-1-1 福山信愛ビル8F TEL 084-922-1537	福山電業株式会社 福山市昭和町 6-1 TEL 084-922-6361
介護と医療、施設と地域の融合を目指す 社会福祉法人 春海会 福山市田尻町 4115 TEL 084-983-5888	ASEED 近代美術 ふくやまアートサロン 福山市船町 7-23 TEL 082-923-5530
FML 福山臨床 福山市草戸町 1-23-21 TEL 084-921-2751	藤井製パン所 福山市川口町 2-3-4 TEL 084-953-0343
松井法律事務所 岡山市北区蕃山町 3-7 両備蕃山町ビル 4 階 TEL 086-221-0221	産科・婦人科 松岡病院 医療法人 貢仁会 福山市宝町 5-32 TEL 084-923-0385
宮崎胃腸科 放射線科 医院 福山市霞町 2-4-3 TEL 084-932-2485	無学泰山塾 ESTABLISHED IN 1973 TEL 084-955-8624
Hair Design LOIRE ロアール元町店 TEL 084-932-2633	新和田歯科医院 医療法人社団東陽会 福山市新市町新市 695-2 TEL 0847-52-6480

解説

シテ(平忠度の靈) 大島 政允
シテ(藤原俊成) 長田 駿
シテ(太刀持) 大島 伊織
シテツレ(太刀持) 大島 伊織
シテツレ(太刀持) 大島 伊織

俊成忠度

ワキ(岡部六弥太忠澄) 福王 知登

大鼓 谷口 正壽
小鼓 成田 奏
笛 左鴻 泰弘

休憩十五分

狂言 口真似
シテ(太郎冠者) 茂山七五三

アド(主人) 茂山 宗彦
アド(客人) 丸石やすし
後見 島田 洋海

休憩十分

解説

予方(藤原房前) 荒木 七海

シテ(後・龍女)
前・海人

大島 輝久

ワキツレ(房前の従者) 大坪 賢明
ワキ(房前の従者) 江崎欽次朗

大鼓 谷口 正壽
太鼓 前川 光範
小鼓 成田 達志
笛 左鴻 泰弘

ワキツレ(房前の従者) 松本 義昭

間(浦人) 鈴木 実

付祝言

終了予定 四時頃

口真似 くちまね
海人 あま

良い酒をもらつた主人は、太郎冠者と一緒に呑む相手を連れてくるよう命じます。すると、酒乱で有名な男を連れてきます。困った主人は、うまくあしらつて帰すことにし、太郎冠者に、自分のする通りにするよう命じます。太郎冠者が主人の命令をそのまま客に繰り返すので、酒宴は混乱していきます。

講岐国房崎の浦を、この地で死んだ母の追善供養のため、藤原不比等の嫡子、房前大臣が訪れます。一行は海女と出会い、昔語りを聞きます。天智天皇の御代、唐土から贈られた宝珠が、海上で竜神に奪われました。そこで不比等は海女と契り、その子を世継にする代わりに、海に潜つて宝珠を取り戻すよう頼みます。海女は死を覚悟して海に潜ります。竜宮から珠を取り、剣で胸の下を切つて体内に隠して逃げのびます。海女は母の靈だと正体を明かし、弔いを頼む文を渡して海に消えます。房前が追善を行つと、母が竜女となつて現れ、成仏できることを喜びます。前段は母の情愛や宝珠の奪還を劇的に描き、後段は爽やかに舞い納める、見所の多い面白い曲です。



この谷の合戦で平忠度を討ち取った岡部六弥太は、遺骸の籠に短冊があるのを見つけ、忠度の和歌の師だった藤原俊成に届けます。短冊には「行き暮れ木の下陰を宿とせば花や今宵の主ならまし」という歌が書かれています。自作の「漣や志賀の都は荒れにしき昔ながらの山桜かな」という和歌が、俊成により「千載集」に選ばれたものの、朝敵のため作者名を伏せられた事への心残りを訴えます。俊成が「歌さえあれば名は隠れない」と慰めると、安堵して和歌の素晴しさを讃えます。突然様子が変わり、和歌の徳により成仏を遂げます。文武に優れ、和歌を愛した忠度の人柄が感じられる佳曲です。